



Title	研究会の活動記録
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学アジア学論叢. 1993, 3, p. 201
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/99665
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【研究会の活動記録】

平成四年

- ① 5月28日 赤木 攻 (本学・タイ・ベトナム語学科教授)
「タイの永住日本人—その実態・意識調査・証言—」
- ② 6月25日 桑島 昭 (本学・インド・パキスタン語学科教授)
「『アジア現代史年表』の作成とその解題—全体計画の検討—」
- ③ 10月15日 A. G. ポプキンズ (スイス・ジュネーブ大学国際関係大学院教授)
「イギリス帝国主義とアジア—戦間期の中国政策を中心に—」
- ④ 11月12日 三輪泰史 (大阪市史料調査会主任調査員・大阪歴史科学協議会委員)
「1940年代の日本—戦時体制から冷戦へ—」

平成五年

- ⑤ 1月21日 原田 環 (島根大学・教育学部助教授)
「1940年代の朝鮮史解釈をめぐる—朝鮮近代史の立場から—」
- ⑥ 2月4日 オスカー・L・エヴァンヘリスタ
(本学・インドネシア・フィリピン語学科客員教授)
“A New Perspective in Studying Philippine History: Its
Implication on Japanese Participation in Philippine
History.”
- ⑦ 3月4日 臼杵 陽 (佐賀大学・教養部助教授)
「1940年代におけるパレスチナ問題
—イスラエル建国およびパレスチナ難民問題をめぐる最近の
『修正主義』論争を中心として—」
- ⑧ 3月18日 李 良志 (中華人民共和国・中国人民大学教授)
「1930～40年代の国共関係と中国の命運」
- ⑨ 3月25日 トマス・J・マコーミック教授を囲む国際シンポジウム
トマス・J・マコーミック (米国ウイスコンシン大学・歴史学部教授)
「戦後アメリカ合衆国の東アジア政策
U.S. and Pacific Rim, 1945—1954」
《コメンテーター》
吉田守男 (日本現代史・松蔭女子短期大学助教授)
陳 来幸 (中国近現代史・富山国際大学専任講師)